

(パブリックコメント 12月1日～28日)

|                                | 意見要旨   | 天王寺区の考え方   | 修正 |
|--------------------------------|--|--|----|
| 区の概況                           |  |  |    |
|                                | <p>(区の概況)<br/>ここ十数年マンションが増え、子育て世代が増加している現象は、ここ十数年の新生児を育てる環境を実現した住民の力による成果が大きいと思われるが、記述されていないのはなぜか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24区初の主任児童委員・民生委員を中心とした子育て支援サークル</li> <li>・若年層の社会参加をめざし、24区初のジュニアクラブの取組</li> <li>・地域住民・地域団体などによる清掃活動</li> <li>・地域住民・保護者による子どもたちの見守りの完全実施</li> </ul> | <p>当該部分は人口推移のデータを示すことを目的とするため、要因については言及していません。子育て支援等にかかる区民の皆さまの取組には、厚くお礼を申し上げます。</p>   | なし |
| 「区民の声」集約プロセスの強化                |  |  |    |
|                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸別訪問型区民の声集約チーム～あなたの声をつなげ隊～</li> </ul> <p>休日に活動しても、代休を取得することなく、仕事外で天王寺区を良くしたいと考える職員が自主参加すべき</p>   | <p>仕事や子育てで忙しく、日頃、区政に対して積極的に意見を寄せることの無い区民のご意見・要望を、区役所職員が出向いてお伺いすることは、重要な業務であると認識しています。いただいたご意見・要望は、区政運営にしっかりと反映してまいります。</p>   | なし |
|                                | <p>区民の意見要望をどのように捉えるか。集計方法や成果目標、工程の検証方法はどのように調査するのか。アンケートによる集計は、その内容により数字が大きく変わるので、明確な調査方法を検討すべき</p>  | <p>いただいたご意見は重く受け止め、できるものは実行に移し、できないものはできない理由を明らかにいたします。成果目標の検証方法については、区民モニターによるアンケートだけではなく、積極的に意見を寄せることの無い区民のご意見についても、区役所職員が能動的に集約を行い検証してまいります。</p>  | なし |
| (日本一の文教都市をめざした人材育成の取組と海外人材の活用) |  |  |    |
|                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人実施型保育ママ事業</li> </ul> <p>失敗に終わった施策を掲載しており、言葉遊びにしか見えない。</p>  | <p>待機児童解消に向け、市として推進している個人実施型保育ママ事業についても、選択肢として検討いたします。</p>   | なし |
|                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立塾</li> </ul> <p>ある所得以下のみ対象というのは差別を生まないか。公立にこだわるなら、誰もが入れるようにして所得により無償の手続きができるなどの工夫が必要。もしくはバウチャーで私立の塾で使えるようにするなど検討が必要。</p>   | <p>所得階層が低い層に対して行政が責任を持って補助できる制度として方向性をお示ししました。いただきましたご意見も踏まえ、今後幅広く区民の皆さまのご意見をお聴きし、検討してまいります。</p>   | なし |
|                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てナビゲーション</li> </ul> <p>内容が良く分からなかった。現在ある支援センターや子育てプラザを含め、どのように全体を盛り上げていくのか、疑問が残った。</p>   | <p>区将来ビジョンには、詳細まで記載していませんが、子育てに関する様々なサービスや情報を分かりやすく案内する「子育てナビゲーション」シートを活用し、子育て世代一人ひとりに顔の見える身近な相談相手として、子育てに関するサービス等のコーディネートを行うこととしております。また、地域子育て支援センター、子ども・子育てプラザなど、区内の子育て関係機関とも連携し、子育てに関する様々な悩みや不安へのきめ細やかな相談支援、情報提供の充実を図ってまいります。</p> | なし |

|                        | 意見要旨  | 天王寺区の考え方  | 修正 |
|------------------------|---|---|----|
| (お年寄り一人ひとりの命を守り抜く地域福祉) |   |   |    |
|                        | <p>・高齢者見守りサポーター</p> <p>近隣の大学生、区内の高校生について、海外で行われているような学校教育の中にボランティアに対するプログラムがあり、教育成果として認められるシステムがあるのなら可能と思われるが、軽く書くことではない。</p>   | <p>学生ボランティアについては、一人一人が手を挙げてくるのを待つのではなく、高校のボランティア部、福祉系の専門学校、大学の医療系ゼミなど、当施策目的の達成に資すると認められるグループ単位の活用を考えてまいります。</p>   | なし |
|                        | <p>高校のボランティア部の学生と話したことがあるが、地域活動に参加することは賛成だが、高齢者の世話などは現実的にできないこともある、との意見が多かった。個人情報保護法、プライバシーの問題もあり、儀礼的な家庭訪問だけで、独居老人とのコミュニケーションが図れるか危惧がある。</p> <p>実践的には各振興町会および民生委員との協力により、生活状態や健康状態を見守ることが基本だと考えられる。</p> | <p>家庭訪問していただく、地域のボランティアの方々、近隣の大学生、福祉系の専門学生の皆さんだけにお任せするのではなく、社会福祉士など地域福祉の専門家により全体の進捗管理を図るといった質の面でも担保した見守り体制を構築してまいります。</p> <p>あわせて、地域における見守り活動や、民生委員の活動とも連携した見守りを行ってまいります。</p> | なし |
|                        | <p>お年寄りの命を守り抜くという考え方ではなく、独居老人と言っても年齢、体力、健康状態に大きな幅があり、地域活動に参加可能な方には、子ども見守り隊や清掃活動に参加することで自然とコミュニケーションを図ることができる。</p>   | <p>普段、地域とのつながりが無く、地域活動を通じた見守りができない独居高齢者に対しては、生活状況の変化の把握や、災害時の孤立を防止するため、普段からの見守りが必要と考えています。</p> <p>地域活動に参加可能な方には、積極的に参加いただけるよう、様々な媒体を活用した広報など、必要な支援に引き続き努めてまいります。</p>          | なし |

|                              | 意見要旨   | 天王寺区の考え方  | 修正 |
|------------------------------|--|---|----|
| より多くの人に「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求 |  |   |    |
|                              | 防災に関して自分の身は自分で守る家具固定の必要性や家屋の耐震補強などを、小学校の授業で取り上げてもらえたら良いのではないかと小学校の子どもたちに理解してもらい、各家庭で実行してもらう方法が効果的と考える。                       | 自助の取組をより多くの区民に認識していただき、実行していただくため、いただいたご意見も踏まえ、実施に際してはあらゆる機会を通じて重要性を発信してまいります。  | なし |
|                              | 地域で開催されている災害避難訓練には、住人の20%しか参加していない。阪神淡路大震災では、建物の下敷きになった人の救出のほとんどが近隣・自衛消防隊によるもので、今後、一層近隣のコミュニケーションを取っていく必要がある。                | 例えば自衛隊などと連携し、「興味を持ってもらえる、来てもらえる」防災訓練を実施し、これまで参加したことのない多くの方々に参加していただき、こうした訓練を通じて、地域のコミュニティの広がりを支援してまいります。また、小学校下等の単位ごとに形成が進んでいる地域活動協議会の活動支援を通じて、より多くの方が地域の訓練に参加することを促すなど、地域の防災力の向上に努めてまいります。 | なし |
|                              | 町会の役目を正しく理解してもらう努力が見受けられない。町会に加入するということは、災害時の人員点呼に有効である。   | 新たな施策を中心に記載しているため、地域振興会に関する記載はしておりませんが、災害対策において地域の共助の取組は非常に重要であり、取組の広がりも含め、行政として必要な支援をしっかりとしてまいります。   | なし |
| 戦略的なシティ・プロモーション              |  |   |    |
|                              | 天王寺ターミナルは地域発展と活性化が期待できるが、YUFURA・ハイハイタウンの集客に、今以上の努力が必要である。  | 天王寺区の活性化はもとより、市全体の均衡のとれた発展のためにも、JR天王寺駅北口エリアの将来構想は非常に重要であると考えています。また、地域ごとの取組だけではなく、大型ターミナルである上本町エリアも含めた天王寺区全体としての観光推進策、活性化策を進めてまいります。  | なし |
|                              | 「天王寺区＝歴史のまち」というブランディングの強化、という表現では不十分。中途半端になってしまう。京都・奈良に匹敵するようなまちをめざす必要がある。   | いただいたご意見を参考に、他都市には無い、天王寺区のまちの特性を活かした観光推進戦略を立案してまいります。   | なし |
|                              | 天王寺区は歴史のまちとしての上町の代表である。世界最古の会社である金剛組もある天王寺区だが、和風建築は減り、高層マンションが増えているのではないかと。京都では高層建築に対して建築規制がされているそうだが、天王寺区の現状では、それを超えるものが必要。 | 建築規制など、都市計画については広域行政である市の責任領域であり、現時点において、区としての権限はありませんが、区民の皆さまからの意見をもとに区役所としても検討し、必要な事項については広域行政の判断を促がしてまいります。  | なし |
|                              | 区内にあるホテル街の影響で、天王寺区は歴史のまちとして多大な損失を受けていると考える。ホテルは代替わりできずに将来的には無くなるそうだが、非常に重要な場所に位置しており、ホテル街やその場所に対する考えもビジョンに示すべきではないか          |   | なし |
|                              | JR北口エリアの再開発について、地元の意見は極めて重要であるが、地元以外にも意見する機会を与えて欲しい  | まずは地元の意見を聴取することが重要であると考えておりますが、地元以外の方々からの意見聴取の方法等についても、今後検討してまいります。   | なし |
|                              | 行政の可能性拡大の条例の改正など未知の分野へのチャレンジは大賛成であり、既成の枠組みを取り払い、新しい行政のスタイルを構築しなければ、区政施策の成果目標も達成できない。   | 既成の枠組みにとらわれず、行政の可能性を広げるため、挑戦してまいります。  | なし |

|                                  | 意見要旨  | 天王寺区の考え方  | 修正 |
|----------------------------------|---|---|----|
| 市政改革プランに基づく「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」 |   |   |    |
|                                  | 高層マンションの建築ラッシュにより区内人口は増加しているが、町会に対して無関心であることから、もっと積極的に地域に参加協力する必要がある。   | <p>連合振興町会エリア単位の団体が連携し、新しい住民や若手世代も一体となって地域課題の解決、地域の活性化に取り組む「地域活動協議会」の形成支援・活動支援に取り組みます。</p> <p>あわせて、様々な広報媒体による地域活動の発信にも引き続き取り組み、活動の一層の活性化、多くの区民への広がり支援してまいります。</p>                          | なし |
| その他                              |   |   |    |
|                                  | <p>・周知方法</p> <p>大事な5年間の区将来ビジョンを、ホームページに掲載しただけの周知、また、たった1ヶ月間の意見募集期間。これで区民の声に基づく新しい区政の実現と言えるのか</p>  | <p>ホームページへの掲載に加えて、「あなたの声をつなげ隊」により、区民の皆さまから区将来ビジョンに対して、ご意見をいただきました。</p> <p>また、区民の皆さまに広く区将来ビジョンをご覧いただけるよう、平成25年4月号の広報紙への掲載を予定しております。</p> <p>今後も、区民の皆さまからいただいたご意見を踏まえ、区将来ビジョンを充実してまいります。</p> | なし |
|                                  | <p>・文言標記</p> <p>あらゆる年代層から意見を求めるのであれば、わかりにくい語句の説明が必要と考える。</p>  | <p>語句の説明もしくは、わかりやすい語句を使用するなど、誰もがわかりやすい表現に改めます。</p>  | あり |
|                                  | <p>・いきいきクラスの時間延長</p> <p>区内の認可保育所・保育園の預かり時間が早くて18:30、長ければ19:30までとなっているにもかかわらず、小学校の「いきいきクラス」は、子どもを18時までとなっており、就労世帯および子どもの安全の確保の観点からも一貫通貫されていないことから、議論・検討・改善して欲しい。</p> | <p>天王寺区将来ビジョン（素案）の記述には触れていない内容ではありますが、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、いきいきクラスは市政改革プランに基づき、平成25年9月からは公募事業者の運営により、時間延長の実施（有料）や地域ニーズに応じたサービスが提供される予定です。</p>                              | なし |
|                                  | <p>・日本語ボランティア</p> <p>外国人が増えていることから、天王寺区在勤の方も含めて、日本語ボランティアの本来の進め方も勉強すべき。</p>   | <p>また、マンション建築に関しては、新規に建設されるマンションに対して、建築確認申請前の段階に本市が行っている、「大規模建築物の建設計画の事前協議に関する取り扱い要領」の再検討とあわせて、区長がマンションの建築主、所有者・管理者、居住者に対して指導できるよう規定の改正に向け、区長課題別検討会議マンションプロジェクトチームによる議論・検討が行われております。</p>  | なし |
|                                  | <p>・建築規制</p> <p>建築確認の許可は地元の了解を取るようにする。</p>  |   | なし |